

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宮崎歯科技術専門学校
設置者名	一般社団法人 宮崎県歯科医師会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	歯科技工士科	夜・通信	360 時間	160 時間	
	歯科衛生士科	夜・通信	240 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

冊子として作成したシラバスを新入生オリエンテーションにて使用、講師に配布している。また事務局に保管しており、閲覧希望者には開示する。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	宮崎歯科技術専門学校
設置者名	一般社団法人 宮崎県歯科医師会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教務会
役割	学校の円滑な運営を行う為に、学則、内規等の改定、学生募集、学生の学習、生活など適切な指導等について協議検討し対応する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
宮崎県歯科医師会専務理事	2023. 6. 24～2025. 6. 28 開催予定の定時総会終結時	歯科医師
宮崎県歯科医師会事務局長	2023. 6. 24～2025. 6. 28 開催予定の定時総会終結時	元本校専任教員
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮崎歯科技術専門学校
設置者名	一般社団法人 宮崎県歯科医師会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
各教科担当の講師へ次年度講義内容、授業計画について1月下旬までに検討していただき、その結果を教務において精査し、新生へ配布。入学式翌日の新生オリエンテーションでシラバスについて説明し、講師にも渡している。	
授業計画書の公表方法	事務局に保管しており、閲覧希望者には開示する。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
授業科目の単位認定は、試験(前期、後期)成績、実習成果、授業態度、出席状況等の履修状況を学内の会議にて厳正に協議、総合的に評価し、合格した者には所定の単位を与えている。試験成績結果については、本人、保護者に公表説明している。	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学科、各クラスにおいて、成績表を作成し、1科目100点満点で換算、科目の平均点を数値化し成績評価の整備をしている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>事務局にて保管しており、閲覧希望者には開示する。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の単位認定は、試験成績（各科目6割以上を合格）、実習の成果、授業態度、出席状況等の履修状況を総合的に評価し、合格した者には所定の単位を与える。判定結果については学内掲示にて公表している。なお、本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>判定結果については学内掲示にて公表している。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宮崎歯科技術専門学校
設置者名	一般社団法人 宮崎県歯科医師会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.miyazaki-dtc.jp/disclosure
収支計算書又は損益計算書	https://www.miyazaki-dtc.jp/disclosure
財産目録	
事業報告書	https://www.miyazakida.or.jp/about/disclosure
監事による監査報告（書）	https://www.miyazakida.or.jp/about/disclosure

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	歯科技工士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1825時間	490 時間		1335 時間		
	昼		1825時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		16人	0人	3人	14人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各教科担当の講師へ次年度の講義内容、授業計画について1月下旬までに検討いただき、その結果を教務において精査し次年度のシラバスとしている。 公表時期は4月上旬に説明会を行い、学生へ公表及び配布をしている。
成績評価の基準・方法
（概要） 各学科、各クラスにおいて成績表を作成し1科目100点満点で換算し、科目の平均点を数値化し成績評価の整備をしている。またそれらについて学生、保護者に公表説明している
卒業・進級の認定基準
（概要）授業科目の単位認定は、試験成績（各科目6割以上を合格）、実習の成果、授業態度、出席状況等の履修状況を総合的に評価し、合格した者には所定の単位を与える。判定結果については学内掲示にて公表している。なお、本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。

学修支援等 (概要) 定期的に小テストを実施し修学達成を確認し、達成度の低い学生については個人面談を行い指導している。また、定期試験において合格基準を大きく下回った学生は、保護者を含めた三者面談を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (%)	7人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 歯科医院、歯科技工所			
(就職指導内容) 面接指導、実技指導			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 歯科技工士免許受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者を含めた三者面談を行っている		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科衛生士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2660 時間	1495 時間	270 時間	900 時間		
			2660 時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
150 人	117 人	0 人	5 人	63 人	68 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>各教科担当の講師へ次年度の講義内容、授業計画について1月下旬までに検討いただき、その結果を教務において精査し次年度のシラバスとしている。公表時期は4月上旬に説明会を行い、学生へ公表及び配布をしている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各学科、各クラスにおいて成績表を作成し1科目100点満点で換算し、科目の平均点を数値化し成績評価の整備をしている。またそれらについて学生、保護者に公表説明している</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）授業科目の単位認定は、試験成績（各科目6割以上を合格）、実習の成果、授業態度、出席状況等の履修状況を総合的に評価し、合格した者には所定の単位を与える。判定結果については学内掲示にて公表している。なお、本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>定期的に小テストを実施し修学達成を確認し、達成度の低い学生については個人面談を行い指導している。また、定期試験において合格基準を大きく下回った学生は、保護者を含めた三者面談を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35人 (100%)	0人 (%)	32人 (91.4%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 歯科医院			
(就職指導内容) 面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科衛生士免許受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	3人	2.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者を含めた三者面談を行っている		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
歯科技工士科	300,000円	560,000円	340,000円	
歯科衛生士科	340,000円	370,000円	150,000円	宮崎県歯科医師会会員の医院、県内の行政・総合病院・センター等に就職する場合は入学金は24万円（10万円減額）
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務局にて保存しており、閲覧希望者には開示する		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
宮崎県歯科医師会専務理事、事務局長が学校運営、教育活動、学生支援、教育環境、学生募集等について評価する。評価結果については、教務会にて改善点を協議し学校運営教育活動に活用していく		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
宮崎県歯科医師会	2023. 6. 24 ～ 2025. 6. 28 開催予定の定時総会終結時	宮崎県歯科医師会専務理事
宮崎県歯科医師会事務局長	2023. 6. 24 ～ 2025. 6. 28 開催予定の定時総会終結時	元本校専任教員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務局にて保存しており、閲覧希望者には開示する。		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.miyazaki-dtc.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H145320186230
学校名 (〇〇大学 等)	宮崎歯科技術専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	一般社団法人 宮崎県歯科医師会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		23人 (0) 人	21人 (-) 人	-人 (-) 人
内 訳	第Ⅰ区分	-人	13人	
	(うち多子世帯)	(0) 人	(0) 人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	(うち多子世帯)	(0) 人	(0) 人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
	(うち多子世帯)	(0) 人	(0) 人	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	0人	-人	
区分外 (多子世帯)	0人	0人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				-人 (0) 人
合計 (年間)				23人 (-) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	人
前半期	0人
後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。